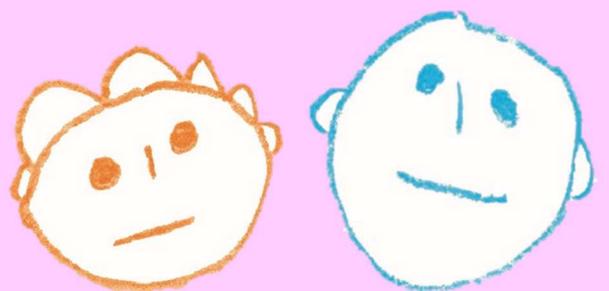




調布市社会福祉事業団 職員採用案内





私たちは、すべての利用者が人として人らしく尊ばれ、
自らの意思に基づいた生活を地域社会で営むことができるよう支援します。

障害福祉サービス

なごみ (知的障害者援護施設)

(施設入所支援・生活介護) 定員 60 名
(短期入所・ショートステイ) 定員 12 名
開かれた生活環境やメリハリのある暮らしを提供します。また、地域で暮らす障害のある方が一時的にサービスを必要とした場合、短期間生活の場として利用できます。レスパイトや施設の体験としての利用も可能です。

まなびや

(生活介護) 定員 32 名 ※うち重心通所 10 名
(日帰介護) 1 名
重度重複障害のある方の通所施設です。地域で健康に豊かな生活を送れるようにリハビリや日中活動などさまざまなサービスを提供しています。

ちょうふだそう

(調布市障害者地域生活・就労支援センター)

地域生活を送るため、就労面と生活面の一体的支援を行なっています。

就労支援

- ◆ 障害者就労支援事業

生活支援

- ◆ 地域活動支援センター事業
- ◆ 特定相談支援・一般相談支援事業
- ◆ 障害者地域自立支援協議会
- ◆ 移動支援事業
- ◆ 障害者を地域で支える体制づくり
モデル事業 (あんしんネット)
- ◆ ほっとれ〜る (ティールーム) の運営

そよかせ (知的障害者援護施設)

(生活介護) 定員 30 名
普段の家庭生活や質の高い地域生活を送るためのスキルアップを目指す、重度の知的障害の方たちの通所施設です。

すまいる (知的障害者援護施設)

(就労継続 B) 定員 16 名 (生活介護) 16 名
働く意欲を持ち、仕事を通して社会参加・自立をめざす方を対象に、パンの製造・販売を中心とした事業を展開しています。

< すまいる分室 >

(就労移行支援) 定員 7 名
一般就労や特例子会社への就労を目指す方を対象に有期限で、就労への訓練を行います。

(就労定着支援) 定員なし
職場への定着を図るために、就労後 6 か月以上経過した利用者を対象に面談や職場訪問を行います。

すくらむ

(障害者地域生活サポートセンター)

障害のある方が家庭から自立し、市民として安全で快適な地域生活が送れるよう支援しています。

< グループホーム >

- | | |
|------------|------------|
| ◆ すてっぴ | ◆ じょい |
| ◆ ふれんず | ◆ じゃんぷ |
| ◆ 富士見町じゃんぷ | ◆ 下石原じゃんぷ |
| ◆ 布田北じゃんぷ | ◆ 調布ヶ丘じゃんぷ |
| ◆ みつぱち | ◆ 深大寺みつぱち |

児童サービス

あゆみ（調布市子ども発達センター通園事業）

- ◆児童発達支援事業 定員40名
専門的支援を必要とする3～5歳児を対象とした通園療育を行います。遊びを通して社会的能力、認知能力、運動・活動能力の育ちを支援します。
- ◆緊急一時養護事業・リフレッシュ事業
平日2名・休日1名 1歳6カ月～小学生

すこやか（調布市子ども家庭支援センター）

- 子どもと家庭に関わる多様な事業を行うことにより、子どもの健やかな成長を支援します。
- ◆施設開放事業 ◆エンゼル大学 ◆ショートステイ事業
 - ◆トワイライトステイ事業
 - ◆ファミリーサポートセンター事業
 - ◆すこやか保育事業 ◆養育支援訪問事業
 - ◆乳児交流事業 ◆幼児交流事業
 - ◆子ども家庭総合相談事業
 - ◆利用者支援事業

学童クラブ

- 就労等により、保護者が昼間家庭にいない小学生を対象に、遊びや生活の場を提供し、育成を行います。
- ◆第一小学校学童クラブ ◆はづき学童クラブ
 - ◆第二小学校学童クラブ ◆かしわの学童クラブ
 - ◆国領小学校学童クラブ
 - ◆かみふだ第1・第2学童クラブ

ユーフォー（放課後子供教室事業）

- 「友」だちと「夕」方まで「優」しく「遊」ぶ、「ゆう」が4つで「ユーフォー」。小学校内の施設を利用し、放課後に子どもたちがランドセルを背負ったまま遊びに行くことができる遊び場を提供しています。
- ◆第一小学校 ◆第二小学校 ◆国領小学校
 - ◆柏野小学校 ◆八雲台小学校

ゆずのき学童クラブ

- 定員40名※うち肢体不自由児5名 知的障害児等10名
- 定員のうち障害児の人数が多いこと、障害児については車両送迎を行うこと、他の学童クラブでは受け入れが難しい児童を優先すること等、障害児の利用について特徴を有する学童クラブです。全ての利用児が、ともに違いを認め合いながら、仲間となって過ごしていけるよう、育成を行います。

意欲あふれる皆さんを

お待ちしております。

当法人は、調布市の100%出資により設立された法人です。障害福祉と子育て支援を事業の両輪として、先駆的な取り組みを調布市からの受託を受け実施しています。

障害福祉事業においては、入所施設をはじめ通所施設、地域での生活を支えるグループホームや地域での生活や就労支援を行っている事業所を持ち、就学前の子ども療育にも取り組んでいます。こういった事業を推進しているのは障害のある方のライフステージ全般に関わり、寄り添って支援していくという大きな方針を持っているからです。

子育て支援事業では、調布市子ども家庭支援センターすこやかを中心に、子育てをしやすい環境を整えるための多様なサービスを展開しています。児童虐待の防止にあたっては、児童相談所や市の関連セクションとも密接な関係を持ち支援しています。平成27年4月より新たに学童クラブとユーフォーを受託し、放課後における遊び場を提供するとともに、安全に安心して過ごすことができるよう児童の健全な育成を支援しています。

どの仕事も決して楽な仕事ではありませんが、子どもたちや利用者の皆さんの笑顔を見ると、多くの人々の日常を支えているというやりがいを感じます。

当法人は「人材」を何よりも大切な「人材」として捉え、職員一人ひとりの自己成長・自己実現を支援しこれからも福祉の拡充に取り組んでまいります。



小林 一三 / Ichizo KOBAYASHI
社会福祉法人 調布市社会福祉事業団

先輩職員メッセージ

なごみは知的障害の方の入所施設であり、ご利用者の生活の場です。「おはようございます」から「おやすみなさい」まで1日の生活を職員がチームとなって見届けられることにやりがいを感じています。日々の小さな変化に気づき、安心して暮らせる場を提供するために支援方法を模索することは難しいこともありますが、ご利用者の笑顔を見るたびに元気をもらい、自分の活力に繋がっています。

令和元年度
採用

渡邊 あずみ / Azumi Watanabe

調布市知的障害者援護施設なごみ



1日のながれ(夜勤の例)

16:30	出勤
17:45	夕食介助
20:30	入床準備
22:00	夜勤見回り (以降、2時間おきに見回り) 夜間トイレ誘導・安全確認
6:30	早番職員への引継ぎ ご利用者の起床・身支度
8:30	日勤職員への引継ぎ
9:30	退勤

夜勤は大変ですが、夜勤明けの楽しみを用意しておいて勤務が終了したら思いっきり自分を甘やかすと決めて頑張っています。シフト制のため気持ちの切り替えもしやすく、休みをうまく組み合わせてリフレッシュを図りながら充実した日々を送っています。

学童クラブ・ユーフォーは、児童が放課後に安心して過ごせる適切な遊びと生活の場を提供することが目的の事業です。この仕事は遊びやコミュニケーションを楽しむ心が大切だと感じています。親身に接することで子どもたちが成長・発達していく姿を目の当たりにすることが出来る素敵な仕事です。子どもたちの楽しいことはより楽しく、大変な思いは少しでも軽く出来るように一緒に頑張りましょう！

平成30年度
採用

関谷 健二 / Kenji SEKIYA

はづき学童クラブ



1日のながれ(遅番の例)

(9:30	準遅番職員出勤)
10:30	出勤 事務作業
13:00	児童の育成
16:45	帰りの会
17:00	集団降室
(18:15	準遅番職員退勤)
19:00	延長育成終了
19:15	退勤

遅番前には、市役所に住民票を取りに行ってから出勤することができたり、銀行に行ってから出勤することもできます。準遅番後には、六本木や渋谷など都心で行われる知人のライブを見に行ったり、地域活動の会議に参加したりしています。

すまいるはパンの製造・販売を通じて、ご利用者一人一人が地域につながるための橋渡し役を担っています。毎日一緒に粉から生地を作り、丹精込めて焼き上げたふわふわのパンを、近隣の企業や施設へ提供しています。接客が得意な人、生地を丸めるのが上手な人、計量が正確な人、販売ポスターのイラストが得意な人 etc...ご利用者の特性＝特技として仕事に活かしていくことをモットーに、形にとらわれずどんなことでも自分のペースで仕事ができる、そんな職場を目指しています。

平成23年度
採用

廣木 麻衣子/Maiko HIROKI
調布市知的障害者援護施設 すまいる



1日のながれ(日勤の例)

8:30	出勤
8:45	パン製造
10:45	パン販売
13:30	休憩
14:15	相談業務
16:30	終礼
16:45	事務作業
17:15	退勤

わたしは事業団の正規職員として勤務してから、「結婚」「出産」と人生のターニングポイントを迎え、そして現在子育て真っ最中です。事業団は産休制度が大変充実しており、実際わたしも1年間の育児休業を終え、すまいるに復帰しました。育休開けは時短勤務を利用し、保育園の送迎を無理なくできたことで、仕事と家庭の両立を上手く図れるようになりました。

すこやかでは、妊娠期からの子育て支援を行っています。母子健康手帳の交付、産前・産後のヘルパー、乳幼児の交流、一時預かり、子育て相談など様々な角度から子育て世帯をサポートしています。館内にあるひろばは毎日多くの親子連れでにぎわっています。私の所属する一時預かり事業では、預かりの申請業務から保育まで、親子とかわることができ、日々子どもの成長や親子の笑顔などに触れることができます。

仕事は先輩から丁寧に教えてもらい、わからないことも質問しやすい環境です。とてもやりがいのある楽しい仕事です。

平成29年度
採用

今 博史/Hirofumi KON
調布市子ども家庭支援センターすこやか



1日のながれ(日勤の例)

8:30	出勤
10:00	申請対応
11:00	ひろば見守り
13:00	保育
15:00	電話対応
16:00	利用登録 事務作業
17:15	退勤

仕事後には、サッカーやフットサル、スポーツ観戦等をして過ごしています。すこやかでは、最近、親子に向けた動画などを配信していて、たまに出演しています。母に捧げるすこロックではエアドラムとして出演しました。



待遇・福利厚生

初任給 208,400円 ～ 218,400円（大卒新規採用者の場合）

※上記金額は、本俸＋特殊業務手当の合計額。

※職歴加算あり 福祉施設等における正規職員としての経験年数×下記定期昇給額
その他の正規職員としての経験年数×下記定期昇給額×50%

手当等 期末・勤勉手当 令和2年度実績4.55ヶ月分

住居手当 賃貸住宅居住の世帯主を対象。34歳まで 15,000円

扶養手当 子（～15歳）9,000円、子（16～22歳）13,000円、
その他扶養親族等6,000円

資格手当 社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士、保育士、公認心理師 6,200円

通勤手当 交通機関使用の場合実費相当額、その他自転車等交通用具使用時など

定期昇給 58歳まで年次定期昇給あり

～30歳代平均6～9千円程度 40歳代～平均6千円程度

※それぞれ年齢については、その年齢に達する日を含む年度が対象）

勤務時間 週40時間勤務。施設によってはシフト制による交代勤務のところもあり。

休日 年間休日数120日程度。曜日等は施設により異なる。

休暇等 年次有給休暇（入職日から付与）、夏季冬季休暇、子の看護休暇、介護休暇（以上時間単位の取得可）、出産休暇、育児休業、出産支援休暇等。その他にも、リフレッシュ休暇（勤続10年、20年、30年到達時に年数に応じて休暇を付与）、ボランティア休暇等、規程で定められた各種休暇・休業制度あり。

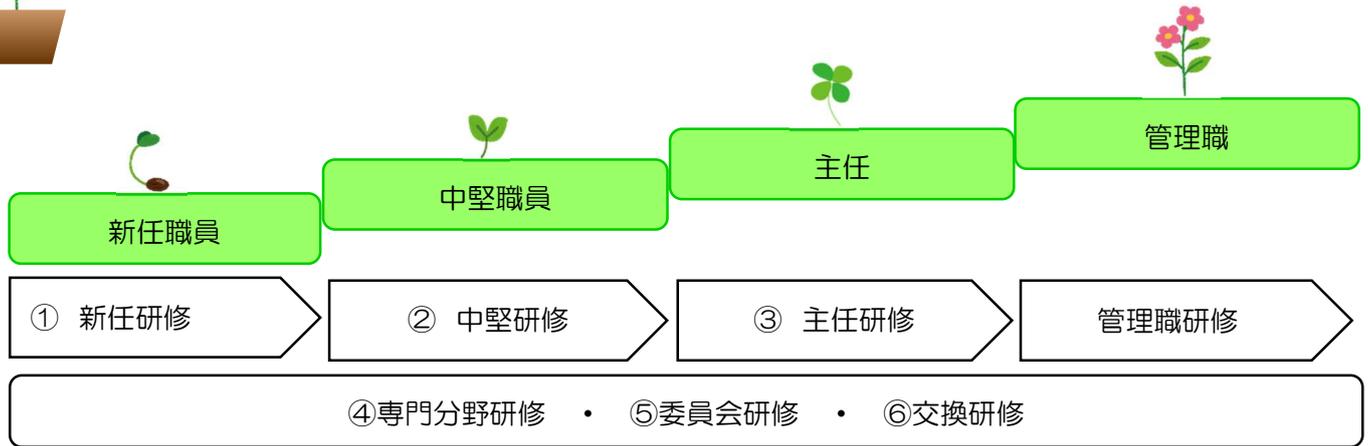
健康管理 定期健康診断や予防接種のほか、保健師による健康づくりのための面談も実施。

保険・年金など 健康保険（協会けんぽ）、厚生年金保険、雇用保険、労災保険、施設損害補償（職員の労災上乗せ、傷害事故補償、感染症罹患事故補償含む）及び、従事者共済会・福祉医療機構による退職金制度に加入。

職員互助会 職員同士の親睦などを目的に、職員互助会が設置されています。慶弔給付金や健診の補助・会員同士の親睦の補助などを行っています。
有志によるサークルも設立され、活発に活動しています！そのほか、ソウェルクラブ（福利厚生センター）による各種サービスを利用できます。



キャリアパス・研修制度



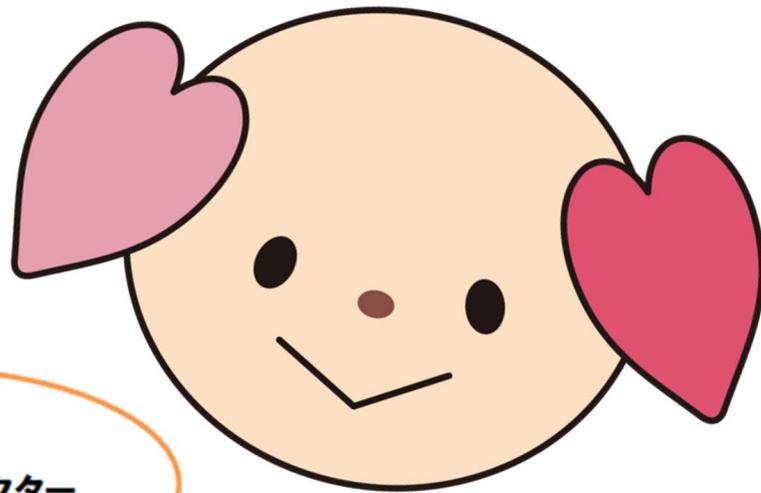
※その他、外部の研修も多数受講しています

- ① 新任研修 ～事業団職員としての意識づけ・基本事項の習得～
実施例…新人研修，ビジネスマナー，OJT等
- ② 中堅研修 ～職場におけるリーダーシップとチームワーク～
実施例…リーダーシップ，コミュニケーション能力等
- ③ 主任研修 ～職場をまとめ，事業団全体への運営に参画する～
実施例…部下指導育成，業務改善等
- ④ 専門分野研修 ～専門性の向上と主体的なキャリア構築～
実施例…てんかん講座，自閉症講座，エピペン投与シミュレーション等
- ⑤ 委員会研修 ～事業団内の各委員会主催の多様な研修内容～
実施例…コンプライアンス，メンタルヘルス，リスクマネジメント等
- ⑥ 交換研修 ～各施設間の交流を持ち，相互の情報交換～
実施例…事業団内施設，調布市内福祉施設，都内福祉施設等



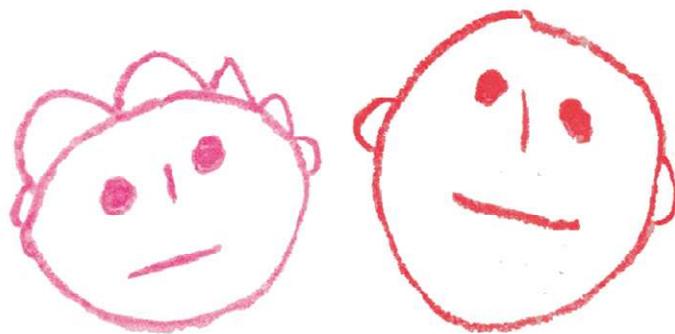
Q & A

- Q. 配属先はどのように決まりますか？
配属先も人事異動も，本人の希望を考慮した上で職員の配置数やバランス，その方の持っている資質などを考え決定します。
- Q. 受験資格はありますか？
福祉関連の資格は必要条件とはしていませんが，社会福祉士・介護福祉士・精神保健福祉士・保育士・公認心理師を取得している職員には資格手当を支給しています。
必要な受験資格は「普通自動車免許（採用までに取得見込も可）」のみです。
- Q. 資格取得に対する支援はありますか？
社会福祉士・介護福祉士・精神保健福祉士・保育士・公認心理師資格取得のための通信教育や講習会の費用への補助金があり，資格取得を目指す職員が多数います。
- Q. 福祉職に関する経験はありませんが，大丈夫でしょうか？
経験豊富な先輩職員がOJT担当として指導する体制があり，安心して勤務・相談ができる職場環境です。
- Q. 見学は可能ですか？
随時お受けしています。本部事務局にお電話下さい。



事業団キャラクター

ちよーじー



調布市社会福祉事業団



問い合わせ

〒182-0032 東京都調布市西町 290-4
本部事務局 採用担当
tel : 042-481-7493



【ホームページ】 <https://jigyodan-chofu.com/>